

教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第31号 H30. 10.25

茨城県教育研修センター
教科教育課
☎0296-78-3213 (直通)



9/28 育成すべき資質・能力を明確にした国語科授業づくり研修講座を実施しました



資質・能力を育成するためには、授業改善のステップとして、質の高い言語活動を位置付けることが大切です。

▲講義「育成すべき資質・能力を明確にした読むことの学習指導」

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 菊池 英慈 先生

菊池調査官の講義では、学習指導のポイントや授業改善の三つのステップなど、移行期間中に押さえておくべきことについて、丁寧にご説明いただきました。

＜受講者の感想より＞

- 新学習指導要領の移行期間に取り組むべきことについてのお話が、とくに参考になりました。「言葉」の可能性と魅力を伝えられるように、今回学んだことを生かして更なる研修に励みたいと思います。(中学校)
- 「共有」と「交流」の違いについて理解することができました。単なる交流にならないように、授業づくりを行っていききたいと思います。(小学校)



▲講義・研究協議「育成すべき資質・能力を明確にした読むことの授業の展開」
育成すべき資質・能力を明確にした単元の指導計画を作成している様子

＜受講者の感想より＞

- 普段交流することのない中学校の先生方と意見交換することができて、たいへん有意義な研修になりました。中学校での多様な言語活動の実践がとても参考になりました。(高等学校)
- 午後の活動では、国語の授業の悩みが少し解消されました。まずは、自分自身が国語を楽しみ、児童の資質・能力を高められるように頑張ろう！と思いました。(小学校)

今回の研究協議では、異校種の職員が交流できるグループの編制を行いました。「学習の系統性」を意識し、活発な協議が行われました。

